

NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事会議事要旨	
会 議 名	2013 年度第 1 回理事会
日 時	2013 年 10 月 6 日 (日) 13:00～17:00
場 所	西宮市市民交流センター C会議室
参 加 者	理事 側垣 江口 大野 島村 古野 横山
欠 席 者	理事 家本 西澤 監事 能島 森本
事 務 局	長谷 重松
議 案	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 上半期の事業報告と事業予定</p> <p>(2) 上半期の会計報告</p> <p>(3) RTC 関連報告</p> <p>(4) 定款変更認証報告</p> <p>(5) NPO パナソニックファンドによる助成事業（組織基盤強化）の経過報告</p> <p>2. 協議事項・審議事項</p> <p>(1) E-ファンドレイジング・チャレンジへの参加</p> <p>(2) 新ベーシックトレーナー選任</p> <p>(3) 次年度役員改選について</p> <p>(4) ICAP との今後の連携について</p> <p>3. その他</p> <p>(1) NPO パナソニックファンドによる助成事業（組織基盤強化）意見交換</p> <p>(2) 2014 年度定時総会日程について</p>
<b>【報告事項】</b>	
(1) 上半期の事業報告と事業予定	<p>上半期の事業に関連する報告が事務局より行われた。</p> <p>第 1 事業では、「CAP スペシャリスト養成講座」1 回、「スペシャルニーズプログラム (SNP) 講座」1 回、「資格更新のための必須研修」5 回、「CAP 児童養護施設プログラム研修」2 回、「教職員 WS 研修」(今年度はいじめをテーマに) を 3 回実施した。第 2 事業では、「子どもへの暴力防止のための基礎講座」5 回(うち学生対象 1 回)、兵庫県助成事業地域セミナー「みんなで知的障がいのある子どもの人権意識を育む」1 回、公開講座として SNP 講座 1 日目と合同開催した「知的障がいのある子どもへの理解を深めるための研修」を実施した。第 3 事業では、正会員対象に NPO 法人 CAP センター・JAPAN 通信を、CAP 活動のための覚書を交わしてグループには RTC 通信を毎月 1 回メール送信している。第 4 事業では、『The☆すぺしゃりすと』37 号、『CAP NEWS』24 号を発行した。第 6 事業として、今年度も RATAc (司法面接) 研修のアクターの依頼 (4 会場) があり、うち 1 会場で実施した。社会的養護の現場への CAP プログラム提供 (フィリップモリスジャパン社助成事業+オンライン寄付サイト Give One へのご寄付活用) では、CCJ エリアの 19CAP グループが CAP ワークショップを提供し始めている (47 施設予定)。反体罰 NPO・研究者連絡会のメンバーとして、7 月 7 日に大阪集会『今日からはじめよう！子どもとおとなの「いい関係」づくり～体罰のない社会をめざして』を実施した。</p> <p>他団体とのネットワークが進み、子どもへの暴力防止についての賛同団体として、ロビー活動に協力した (①海外組織「子どもに対する体罰を禁止するグローバル・イニシアティブ」の賛同団体として内閣総理大臣に書簡を送る、②「児童買春・児童ポルノ禁止法」の改正を求めため要望書を国会に提出)。</p> <p>トレーニング委員会では、プログラム担当のトレーナーが適宜メールでのやりとりや会議を行い、今年度の資格講座の準備や今後の活動について検討している。</p> <p>NPO 法人イーパーツよりリサイクル PC2 台をいただけることになった。</p>
(2) 上半期の会計報告	事務局より会員報告が行われた。

<p>(3) RTC 関連報告</p>	<p>会員は、団体正会員82、個人正会員3人、活動会員443人、賛助会員15人となっており、活動会員と賛助会員については積極的なお願いが必要である。</p> <p>上半期実施事業における収入は、第1事業で上半期予算の95.0%、第2事業で上半期69.5%である。第4事業の書籍頒布は年予算額の16.7%に留まっており、積極的な広報や対策が必要である。助成金についてはほぼ入金され、兵庫県は事業実施後に入金予定となっている。寄付金は、年予算額の26.5%にとどまっており、内訳は寄付サイトGiveOneの入金が207,400円、その他が110,870円となっている。</p> <p>たいへん厳しい財政状況なので、つねに財政状況を把握しながら事業を進めていく必要がある。</p> <p>事務局より報告が行われた。</p> <p>資格更新状況として9月現在、2013年度が猶予期間にあたる方の受講者数は48人（対象113人）、2014年4月更新対象者の研修受講者数は81人（対象164人）となっており、今年度はあと5回の資格更新研修があるので、そちらを積極的にご案内していく。</p> <p>J-CAPTAには、8月にフィリップモリスジャパン社助成金の配分額を送金した。今年度の協力会合はCCJが担当で、今後会合を計画する。今後の話し合いが必要となるテーマとしては、中学生暴力防止プログラム講座トレーナー養成と、次年度以降のフィリップモリスジャパン社助成申請についてがある。</p> <p>ICAPには、毎年CCJよりCCJエリアCAP活動報告を提出しており、今年も2012年度報告を6月に済ませた。ICAPから8月に韓国でCAPトレーニングを実施することが伝えられ、理事長が同時期韓国に滞在予定であることがわかったので、面会を申し出た。8月20日にICAP、KCAP、CCJの3者で会合を行い、CCJからは組織体制やトレーニングについての報告を行った。</p> <p>KCAPからも何度か問い合わせの連絡が入り、その都度対応している。</p>
<p>(4) 定款変更認証報告</p>	<p>事務局より報告が行われた。</p> <p>今年度定時総会で承認を受けた定款変更について、兵庫県に申請を行い、9月20日に定款変更が認証された。</p>
<p>(5) NPO パナソニックファン ドによる助成事業(組織基 盤強化)の経過報告</p>	<p>事務局より報告が行われた</p> <p>組織基盤強化2年目は、5月に助成申請、6月にプレゼンテーションを行い、6月末に助成決定の運びとなった（助成期間は2014年6月末まで）。</p> <p>2012年度にネクストステージ委員会で策定し、理事会承認を得た中期目標・計画、広報戦略に基づき、社会に子どもの安心・自信・自由をいきわたらせるために以下の3つを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的にプロモーションが行える環境の整備</li> <li>2. 安心指標・自信指標・自由指標の策定</li> <li>3. セグメント化した情報発信と</li> </ol> <p>タイムリーなメッセージの発信のためのホームページの見直し・整備</p>
<p><b>【審議事項】</b></p>	
<p>(1) E-ファンドレイジン グ・チャレンジへの参加</p>	<p>事務局より、2013年もパブリックリソース財団の実施する「第2回E-ファンドレイジング・チャレンジ」に申請予定だが、その条件について了承いただきたいとの提案があった。</p> <p>条件：ホームページに今回の事業の協賛であるラウル株式会社のグリーンサイトライセンスのバナーを1年貼り付ける。</p> <p>〈決議事項〉 2013年「第2回E-ファンドレイジング・チャレンジ」への申請（条件を含む）を了承する。</p>

<p>(2) 新ベーシックトレーナー選任</p> <p>(3) 次年度役員改選について</p> <p>(4) ICAP との今後の連携について</p>	<p>「トレーナーの選考と評価に開催する委員会」が9月8日、17日に開催された(委員は2010年度委員の3人である川中大輔さん、栗本敦子さん、側垣理事長に、事務局長として長谷が新メンバーに加わり4人で構成)。2014年度新ベーシックトレーナー候補者選考には、2009年度に策定した基準にのっとり、書類審査、個人面接、グループ面接を行って、点数づけを行った。その後、委員で検討した結果、4人を選考したことが報告された。併せて、今後のトレーニングについての意見交換を行ったので、理事会で検討願いたい旨、提案された。</p> <p>事務局より、事務局あてに新ベーシックトレーナー候補者4人のうち1人が都合により辞退の申し出があったことを報告した。</p> <p>&lt;決議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度新ベーシックトレーナーに、重永侑紀さん、原田薫さん、山下明美さんを選任する。</li> <li>・トレーナー養成の制度設計について、検討を進めて行く。</li> </ul> <p>2014年度は役員の改選時期にあたるので、現状で必要とされる理事会像について協議を行った。</p> <p>8月20日のICAPとのに会合の際に、ICAPは今後国際会議開催を目標にしていると伝えられ、それまでは電話やスカイプを利用して会議をするのはどうだろうかと後日メールが送られたことについて、意見交換を行った。</p> <p>&lt;確認事項&gt;</p> <p>まずは情報交換から始めればよいが、通訳の問題は大きく、ICAPにも相談する。</p>
<p><b>【その他】</b></p>	
<p>(1) NPO パナソニックファンドによる助成事業(組織基盤強化) 意見交換</p> <p>(2) 2014年度定時総会日程について</p>	<p>安心指標・自信指標・自由指標の策定について意見交換を行い、それらの意見を委員会に引き継ぐことになった。</p> <p>2014年度定時総会は5月25日(日)に開催し、5月24日(土)は研修を実施する。</p>
<p>議事録署名人選任</p>	<p>大野理事、島村理事</p>

議事要旨作成：長谷